

進捗管理表(ハード対策)

流域名：長良川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所への対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで					R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R2年度までの 実施内容
長良川	美濃市	1/10	2,900	築堤護岸 護岸工 道路橋改築	1.3	—	築堤護岸 護岸工 用地買収	100%	0.83	64%	—	—	護岸工	0.05	自然環境の改変抑制、在来植生の保全	・生息場所保全に配慮した掘削 (平水以上の掘削・護岸整備で、水面下への影響を抑えた施工)
長良川	関市	1/20	4,800	河道掘削工 護岸工 築堤工	2.8	0.86	測量設計 用地買収 河道掘削工	50%	1.73	62%	0.29	34%	取水施設 (補償工事)	0	水生生物の生息環境に配慮	・護岸の水際に寄石を実施し、多孔質な空間を形成 (護岸を立て、覆土を行うことで自然植生により周辺と調和した河岸の形成を行った)
長良川	郡上市 (木尾)	1/10	2,900	護岸工 築堤工	0.6	0.7	用地買収 築堤工 樋管工	100%	0.6	100%	0.7	100%	天端舗装工	—	周辺景観との調和	・明度を落とした護岸材の使用
長良川	郡上市 (高原)	1/10	2,900	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.5	0.5	用地買収 河道掘削 築堤護岸工	100%	0.17	34%	0.17	34%	護岸工	0.045	周辺景観との調和	・現地石材を使用し周辺景観に配慮 ・奇石、巨石の保全
長良川	郡上市 (深戸)	1/10	2,900	河道掘削工 護岸工 築堤工	1.26	1.26	特殊堤工	100%	1.16	92%	1.16	92%	特殊堤工	0.1	桜並木の保全と調和	・桜並木保全のため、専門家の助言を受け施行 ・景観に配慮した特殊堤の設置
長良川	郡上市 (中山・穀見)	1/10	2900~ 2300	河道掘削工 護岸工 築堤工	3.8	3.8	用地測量 補償調査	14%	0	0%	0	0%	補償調査 用地買収	0	—	—
長良川	郡上市 (白鳥)	1/10	600	築堤工	1.7	1.7	用地買収 築堤工	100% 第1工区分 100% 第2工区分	1.7	100%	1.7	100%	概成	—	—	—
長良川	郡上市 (白鳥)	1/10	600	築堤工	0.54	0.54	用地買収 築堤工	0%	0	0%	0	0%	測量設計 用地買収	0	—	—
津保川	関市 (下流)	1/20	980~1,000	河道掘削工 護岸工 築堤工	1.6	1.0	河道掘削工 護岸工	100%	1.6	100%	1	100%	概成	—	水生生物の生息環境に配慮、周辺景観との調和	・明度を落としたブロックの採用と覆土を行うことで周辺環境に溶け込んだ植生回復を図る。
津保川	関市 (中上流)	H11.9床上 浸水被害解消	300~620	河道掘削工 護岸工	8.5	1.23	河道掘削工 護岸工	49%	1.4	16%	0.05	4%	用地買収 河道掘削工 橋梁上下部工	0.88	水生生物の生息環境に配慮、周辺景観との調和	・明度を落としたブロックの採用するとともに、平水以上の掘削・護岸整備で、水面下への影響を抑えた施工
吉田川	関市	1/10	65~85	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.4	—	河床掘削 護岸工	0%	0.06	15%	—	—	無し	0	水生生物の生息環境に配慮	・スライドダウン掘削 ・在来土の存置
関川	関市	1/20	55	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.63	—	河道掘削工	0%	0.15	24%	—	—	無し	0	既設護岸を極力活用、景観維持	・スライドダウン掘削 ・在来土の存置
小那比川	関市	1/5	240	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.6	—	護岸工	100%	0.43	72%	—	—	河道掘削工	0.04	水生生物の生息環境に配慮	・護岸の水際に寄石を実施し、多孔質な空間を形成

※1 治水安全度向上のための改修延長

※2 河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで					R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R2年度までの 実施内容
板取川	関市	1/30	1,900	築堤工	0.1	—	築堤工	0%	0	0%	—	—	無し	0	水生生物の生息環境に配慮	・現況河道の保全 ・在来土の存置
余取川	美濃市	1/5 [1/3]	45~65 [35~55]	河床掘削 護岸工	0.8	1.6	用地買収	60%	0 [0.58]	0% [73%]	0 [0.58]	0% [73%]	用地買収 橋梁工 護岸工	0.03	水際植生の保全、自然環境の改変の抑制	—
武儀川	関市	1/30	1,150	築堤工 (左岸)	0.7	0.7	用地買収 築堤工	75%	0.6	86%	0.6	86%	用地買収 築堤工	0.1	水生生物の生息環境に配慮	—
福富川	岐阜市	1/20	65	河道掘削工 護岸工 橋梁架替工 樋管工	0.8	—	測量設計 用地買収 護岸工 橋梁工	96.4%	0.38	48%	—	—	河道掘削工 橋梁架替工	0.1	施工後の速やかな自然環境の回復	・在来土を使用した植生護岸の実施
亀尾島川 (内ヶ谷ダム)	郡上市	1/100	880	治水ダム	—	—	ダム本体工 工事用道路	100%	—	67.6% (事業費へ入)	—	67.6% (事業費へ入)	ダム本体工 工事用道路	—	—	—
犀川	瑞穂市	1/5	150	河道掘削工 護岸工 用水堰改築	1.25	0.2	掘削護岸工	100%	0.47	38%	0	0%	掘削護岸工	0.1	在来植生の復元	・ブロックマット護岸に覆土
長護寺川	瑞穂市	1/5	53	河道掘削工 護岸工 橋梁工 伏越工	0.8	—	掘削護岸工 護岸工 橋梁工 伏越改築工	98%	0.28	35%	—	—	掘削護岸工	0.2	在来植生の復元	・低水路は改変せず、高水敷より上部を掘削 (土羽護岸) ・希少種保全のため、専門家の助言を受けて 施行
政田川	本巣市	1/2	36	河道掘削工 護岸工	0.4	0.2	河道掘削工 用地補償	100%	0.3	75%	0	0%	掘削護岸工	0.1	在来植生の復元	—
境川	羽島市~各 務原市	1/5	35~180	河道掘削工 護岸工 道路橋改築 鉄道橋補強	2.6	2.5	測量設計 用地買収 護岸工 道路橋改築	90%	1.675	64%	1.675	67%	測量設計、 用地買収、 道路・鉄道 橋梁改築	—	植生に配慮した護岸ブロックの施工	・植生に配慮した護岸ブロックの施行
新荒田川	岐阜市	1/5	15~30	河道掘削工 護岸工 樋門工	0.3	—	河道掘削工 護岸工 樋門工	0%	0.04	13%	—	—	—	—	植生に配慮した護岸ブロックの施工	・植生に配慮した護岸ブロックの施行
荒田川	岐阜市	1/5	20~95	築堤盛土工 護岸工	0.7	0.6	築堤・護岸 工 用地買収	89%	0.1	14%	0.1	17%	樋管詳細設 計 用地買収	0	在来土を使用した植生護岸の実施	・在来土を使用した植生護岸の実施
桑原川	羽島市	1/5	35	護岸工 樋管工	0.25	—	用地買収	0%	0.14	56%	—	—	樋門詳細設 計	—	水際植生の配慮	・在来土による覆土
伊自良川	岐阜市~山 県市	1/5	300	築堤工 掘削護岸工 堰改築等	2.1	1.0	河道掘削工 護岸工 築堤工 取水堰工	60%	0.25	12%	0.3	30%	護岸詳細設 計	—	みお筋幅や蛇行の復元、現在の水際・流況 の保全	・表土の存置
根尾川	岐阜市	1/5	55	掘削護岸工 等	0.66	—	掘削護岸工	100	0.66	100%	—	—	—	—	—	—
正木川	岐阜市	1/30	30	河道掘削工 護岸工 道路橋改築	0.086	—	河道掘削工 護岸工 道路橋改築 用地買収	100%	0.056	65%	—	—	護岸工	0.013	—	—

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで					R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R2年度までの 実施内容
鳥羽川	岐阜市～山 県市	1/5	240～220	掘削護岸工、築堤工、樋門等	1.2	—	河道掘削工 護岸工 築堤工 仮橋工	60%	0.8	67%	—	—	護岸工 築堤工 旧橋撤去工	0.08	緩勾配護岸による親水性保全 みお筋幅、蛇行の復元	・在来土による蛇行の復元 ・明度を落としたブロックの採用
石田川	岐阜市	1/5	70～45	掘削護岸工等	1.1	—	掘削護岸工	10%	0.35	32%	—	—	旧橋撤去工 掘削護岸工 用地補償	0.06	みお筋幅、蛇行の復元	・みお筋幅、蛇行に配慮した試行
新堀川	瑞穂市	1/5	8	掘削護岸工 パラベット	0.48	—	掘削護岸工 パラベット	—	0.11	23%	—	—	掘削護岸工 パラベット	0.08	—	—
天王川	北方町	1/5	55	掘削護岸工等	0.2	—	掘削護岸工等	—	0.2	100%	—	—	—	—	北方町のかわまちづくりと連携	北方町のかわまちづくりと連携

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

## 2)河川構造物の耐震化

種類	今期10年間の整備内容		R3年度まで			R4年度	備 考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	2	山田川、天神川	2	山田川、天神川	100%	—	天神川はH29までに耐震化完了 山田川はH29までに耐震化完了
樋門・樋管	19	中川逆水、犀川調節、小俣川逆水、重竹逆水、側島逆水、志摩、山田川逆水、天神川逆水、忠節逆水、城田寺逆水、南柿ヶ瀬逆水、蛭川逆水、福富川逆水、石谷川、南谷川逆水、岩崎逆水、大江川逆水、西洞逆水、西洞支川逆水	19	中川逆水、犀川調節、小俣川逆水、重竹逆水、側島逆水、志摩、山田川逆水、天神川逆水、忠節逆水、城田寺逆水、南柿ヶ瀬逆水、蛭川逆水、福富川逆水、石谷川、南谷川逆水、岩崎逆水、大江川逆水、西洞逆水、西洞支川逆水	100%	—	南柿ヶ瀬逆水、西洞逆水、西洞支川逆水については、検討の結果耐震不要 城田寺逆水(H25に門扉・門柱・函渠の耐震化を実施) 天神川逆水・蛭川逆水(H26に設計は完了、H27に門扉・門柱・函渠の耐震化を実施) 側島樋門は検討の結果耐震不要 山田川逆水はH29までに耐震化完了 天神川逆水はH29までに耐震化完了 忠節逆水はH29までに耐震化完了 重竹逆水、志摩はH29までに耐震化完了 犀川調節はH29までに耐震化完了 石谷川はH29までに耐震化完了 南谷川逆水はH29までに耐震化完了

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。  
※南柿ヶ瀬逆水樋門、西洞逆水樋門、西洞支川逆水樋門、側島樋門は検討の結果耐震不要

## 3)魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		R3年度まで		R4年度(R3繰越箇所)		備 考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	75	69	92%		0	

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：揖斐川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所の対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで					R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	B 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R3年度までの 実施内容
大江川	海津市	1/50	100	築堤 護岸工	0.32	—	築堤工 矢板護岸	0%	0.2	63%	—	—	—	0	法肩付近の植生を背後の環境と調和させる	・ブロックマット設置に係る覆土について、在来土を使用し周辺の環境との調和を図った。
津屋川	海津市 養老町	1/50	320~125	堤防補強 築堤 橋梁工 樋管工 ポンプ移設	4.9	2.8	用地買収 築堤工	95%	3.0	61%	1.8	64%	地質調査 詳細設計	0	現況流路の保全、河畔林の植え替え	—
杭瀬川	大垣市 池田町	1/5	180~65	築堤工 護岸工 河床掘削工 橋梁改築 陸開 堰改築	4.6	8.6	用地買収 築堤工 河床掘削工 陸開 菅野川開水 路化 橋梁改築	24%	2.3	50%	4.7	55%	用地補償 橋梁改築 護岸設計	0	水際部植物の繁茂と自然な水際環境の復元	・掘削(水際に配慮) ・低水護岸工 ・生物保護活動 ・ホタルの幼虫保護
中之江川	大垣市	1/5	75	掘削工 護岸工 築堤工	0.9	0.8	掘削工 護岸工 築堤工	—	0.9	100%	0.8	100%	—	0	良好な自然環境の保全 地域と一体となった親水空間	・掘削工 ・護岸工(覆土式)
桂川	揖斐川町	1/5	35	掘削工 護岸工 築堤工	0.7	0	掘削工 護岸工 築堤工	100%	0.5	100%	—	—	—	0	良好な自然環境の保全 地域と一体となった親水空間	・スライドダウン掘削 ・護岸工 ・築堤工
白石川	揖斐川町	1/5	55	掘削工 護岸工 築堤工	0.5	0.44	護岸設計・ 丈量測量・ 用地買収	45%	0	0%	0	0%	護岸工 樋管設計	0	覆土により水際部の植生を語り多様な生物の生息箇所の確保	—
山除川	海津市	1/1.2	35~10	護岸工 橋梁工	0.18	0.18	護岸詳細設計 耐震性能照査	27%	0	0%	0	0%	用地補償	0	滞筋の保全を図り、水際の多様な空間、平常時の流速・水深の確保	—
相川	大垣市 垂井町	背水影響対策	600~430	築堤工	—	—	—	100%	—	—	—	—	—	0	自然環境上、必要な河道内樹木は保全	・築堤工 ・樹木管理
大谷川	大垣市	背水影響対策	110~50	築堤工 橋梁改築 JR橋改築	1.8	1.7	築堤工 橋梁改築 附帯施設設計 用地買収 丈量測量	46%	1.1	61%	1.3	76%	JR橋梁設計 用地補償	0	自然環境上、必要な河道内樹木は保全	・築堤工 ・樹木管理
矢道川	大垣市	背水影響対策	40	築堤工 JR橋改築	0.9	—	JR橋梁設計	0%	0	0%	—	—	JR橋梁設計 用地補償	0	—	—
泥川	垂井町	1/20	165~30	築堤工 河床掘削工 護岸工 排水機場着手	1.1	—	用地買収 掘削工 護岸工	60%	0.64	58%	—	—	—	0	護岸に覆土し環境の多様性を確保	—
水門川	大垣市	1/5	95~5	洪水調節池	—	—	測量設計 用地買収 調節池掘削 排水樋管	100%	—	—	—	—	護岸工等	0	沿川の景観に配慮した改修	—
金草川	養老町	堤防強化 (1/5)	56	伐採・除根 覆土 張芝	6.6	1.5	伐採・除根 覆土 張芝	—	0.48	7%	—	—	伐採・除根 覆土 張芝	0.3	—	・伐採・除根 ・覆土 ・張芝

※1: 治水安全度向上のための改修延長

※2: 河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2)河川構造物の耐震化

種類	今期10年間の整備内容		R3年度まで			R4年度	備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	2	旧水門川、山除川	0		0%	(旧水門川) 建屋耐震工事	旧水門川(H28建屋耐震検討、R3建屋耐震詳細設計、R3(繰越)建屋耐震工事) 山除川は三重県で対応
樋門・樋管	5	静里逆水、新堀川、色目川、養老橋排水、下磯逆水樋門	5	色目川、静里逆水、新堀川、養老橋排水、下磯逆水樋門	100%		養老橋排水(H28設計、H29門柱耐震工事) 新堀川(H26設計、H28～H29門柱耐震工事) 静里逆水(H27設計、H28門柱耐震工事) 色目川逆水(H26設計、H27～28門柱耐震工事) 下磯逆水(H25設計、H30～R元門柱耐震工事)

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3)魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		R3年度まで		R4年度(R3繰越箇所)		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	25	14	56%	5箇所程度修繕予定	5	

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：木曽・飛騨川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所の対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで						R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R3年度までの実施内容
鬼谷川	郡上市	1/10	210	護岸工 河道掘削工	0.6	0.3	測量設計 用地買収 護岸工	99%	0	0%	0	0%	目標の1/10確率規模 の洪水に対して河道 掘削が完了し、住家、 避難所等の浸水被害 は解消済みであるた め当面休止する	-	オオサンショウウオ等に配慮し水際部の自然環境 を保護する。	・水制工(袋詰玉石+覆土)
可児川	可児市 御嵩町	1/70	280~1,200	河道掘削工 護岸工 築堤工	14.4	4.6	測量設計 用地買収 河道掘削工	0%	7.5	52%	4.6	100%	-	-	みお筋幅や蛇行の復元、現況河川の保全	・スライドダウン掘削 ・覆土 ・寄せ石の設置
久々利川	可児市	1/20	150	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.25	2.5	測量設計 用地買収 護岸工	88%	0.7	56%	1.24	50%	護岸工 取水堰改築	0.05	施工後の速やかな自然環境の回復	・スライドダウン掘削
加茂川	美濃加茂市 坂祝町	1/10	95~190	河道掘削工 護岸工 築堤工	2.3	0.6	河道掘削工 護岸工 築堤工	100%	2.3	100%	0.6	100%	(今後10年間の整備区 間より上流区間) 河道掘削工 根継工	0.1	水生生物の保全や景観の配慮	・スライドダウン掘削
深渡川	美濃加茂市	1/10	11~30	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.62	-	河道掘削工 護岸工 橋梁工	93%	0.5	81%	-	-	護岸工 函渠工	0.1	周辺環境との調和	・環境に配慮した護岸選定
飯田川	川辺町	1/10	65	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.36	-	測量設計 用地買収 河道掘削工	100%	0.2	56%	-	-	護岸工 橋梁上部工	0.03	自然を残して、身近な川に	・スライドダウン掘削 ・寄せ石の設置
水無瀬川	川辺町	1/10	30~45	河道掘削工 護岸工	0.23	-	河道掘削 護岸工	100%	0.23	100%	-	-	-	-	河川特性や周囲の環境を踏まえた地域に密着した 川づくり	・階段の設置 ・瀬・淵の保全
平芝川	御嵩町	1/30	50	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.4	-	河道掘削 護岸工	93%	0.23	58%	-	-	-	-	自然環境や水生生物の生息環境の保全	・スライドダウン掘削 ・瀬・淵の保全
大森川	可児市	1/10	140	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.25	-	護岸工 築堤工	100%	0.25	100%	-	-	-	-	水生生物の保全や景観の調和	・スライドダウン掘削 ・水際に寄せ石
白川	白川町	1/15	1,200	河道掘削工 護岸工 嵩上げ工	0.55	-	測量設計	0%	0	0%	-	-	丈量測量	-	巨石の配置等により流れに変化のある河床環境を 保全 景観に配慮した護岸の選定	-

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで						R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R3年度までの実施内容
千旦林川	中津川市	1/20	130	河道掘削工 護岸工 取水堰	0.3	0.4	河道掘削工 護岸工 取水堰	100%	0.3	100%	0.4	100%	—	—	魚類等の良好な生息空間である淵・河畔林を極力 保全 親水機能の向上による水辺空間とのふれあい・環 境教育の場の創出	・階段の設置 ・河畔林の保存
濁川	恵那市	1/10	90	河道掘削工 護岸工	0.2	—	測量設計 用地買収 護岸工	100%	0.2	100%	—	—	—	—	河川特性を考慮しつつ、現在ある良好な自然環境 や周辺景観の保全を行う	・みお筋の保全 ・河床の非平坦化 ・水際への多孔質空間の確保
永田川	恵那市	1/30	180	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.5	0.4	河道掘削工	0%	0	0%	0	0%	河道掘削 用地買収	—	周辺環境との調和を図りつつ自然な河岸・水際空 間を創出する。	(維持修繕工事) ・置石による多孔質空間を保 全
前川	中津川市	1/30	45	河道掘削工 護岸工	0.3	0.4	河道掘削工 管理道整備	20%	0.25	83%	0.25	38%	丈量測量	—	前川の持つ自然環境を生かしつつ治水安全度を高 め、同時に水辺に近づきやすい川づくり	—
飛驒川 (湯之島・西上 田)	下呂市	C	3,000	築堤護岸工	2.3	—	築堤護岸工	100%	2	87%	—	—	築堤護岸工	0.1	必要最小限の河道改変により治水効果を高め、同 時に良好な自然環境、河川景観の保全を目指した 川づくり	・スライドダウン掘削 ・瀬・淵の保全
飛驒川 (中呂・跡津)	下呂市	1/9	2,500	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.8	0.8	護岸工	100%	0.80	100%	0.80	100%	—	—	必要最小限の河道改変により治水効果を高め、同 時に良好な自然環境、河川景観の保全を目指した 川づくり	・環境に配慮した護岸選定 ・早瀬の保全 ・寄せ石工の実施
飛驒川 (西上田)	下呂市	1/15	3,000	河道掘削工 築堤護岸工	4.0	—	河道掘削工 護岸設計 丈量測量	0%	1.28	32%	—	—	用地買収 河道掘削工	0.7	必要最小限の河道改変により治水効果を高め、同 時に良好な自然環境、河川景観の保全を目指した 川づくり	・スライドダウン掘削 ・瀬・淵の保全
戸川	下呂市	1/2.2	190	河道掘削工 護岸工	0.6	—	—	0%	0.00	0%	—	—	護岸・堰詳細設計 用水量調査	0.8	河畔林の保全に配慮した片岸拡幅 自然共生工法認定製品による護岸 現況河床環境の保全に配慮した河道掘削形状	—



河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで						R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	R3年度までの実施内容
大洞川	下呂市	1/20	750	河道掘削工	0.4	0.4	河道掘削 護岸工	100%	0.4	100%	0.4	100%	-	-	大洞川の持つ自然環境を生かしつつ治水安全度を高め、同時に水辺に人がよりやすい川づくり	・玉石による護岸工 ・早瀬の保全 ・寄せ石工の実施
飛騨川 (柳島)	高山市	1/10	1,150	河道掘削工 河道拡幅工	1.5	1.5	河道掘削 河道拡幅	100%	1.5	100%	1.5	100%	-	-	河川特性をふまえ、河床部の滞筋が早期に自然な形状で回復できるよう、施工後の速やかな自然環境の回復を目指した川づくり	・河畔林の保全 ・早瀬の保全 ・淵の保全

※1治水安全度向上のための改修延長  
※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

### 2)河川構造物の耐震化

種類	今期10年間の整備内容		R2年度まで			R3年度	備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	1	上戸	1	上戸	100%	-	上戸(H26線で上屋の詳細設計完了、H27に残分の詳細設計を実施し、H27、H28に全体の耐震化を実施)

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

### 3)魚道の機能回復

種類	H28年度までの取組方針		R3年度まで		R4年度(R3 繰越箇所)		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	41	36	88%	2		

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。



進捗管理表(ハード対策)

流域名：土岐川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで					R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量(m <sup>3</sup> /s)	工事内容	①改修延長(km)※1	②要対策堤防等延長(km)※2	実施内容	用地取得率	③改修済延長(km)※1	進捗率(③/①)	④対策済延長(km)※2	進捗率(④/②)	実施計画	⑤改修延長(km)※1	河川ごとの川づくり目標	R2年度まで実施内容
土岐川	瑞浪市土岐町 大正用水堰	1/10	450	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.90	0.90	護岸工 築堤工	100%	0.9	100%	0.9	100%	-	-	河床部の、みお筋が早期に自然な形状で回復できるよう、 現河床と同じような形とするスライドダウン掘削を基本とする。	・スライドダウン掘削 ・覆土工 ・寄せ石の設置
土岐川	瑞浪市 松ヶ瀬町	1/30	1,000	河道掘削工 護岸工	0.10	0.10	河道掘削工 護岸工	100%	0.10	100%	0.10	100%	-	-		・河道の設置
土岐川	瑞浪市土岐町 土岐橋	1/30	1,000	河道掘削工 護岸工 橋梁工	-	-	仮橋工	8%	-	-	-	-	下部工 (右岸)	-	-	
肥田川	土岐市肥田町	1/30	300	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.53	1.06	河道掘削工 護岸工 橋梁工	91%	0.2	28%	0.34	32%	用地買収	0.00	治水、利水、自然環境等の川の働きを活かしながら、瀬や淵等の地形を保全・回復させる。 現況河川の狭少箇所を拡幅し、みお筋を保ち流下能力を確保する。 河川の連続性を確保する。 工事着手時に工事区間内で生物保護活動を行う。	・自然環境に配慮した護岸ブロックの採用
市之倉川	多治見市 市之倉町	1/30	100	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.34	0.68	河道掘削工 護岸工	95%	0.22	65%	0.44	65%	関係者との 調整	0.00	市街地を流下しているため、治水安全度の確保を最優先とする一方、自然環境面においては 在来植生の保全を図るとともに、河床は平坦にせず、多様性をもたせる。 工事着手前に、水生生物保護活動を実施し、生物への影響を最小限とする。	・落差工へ魚道工の設置 ・魚巣ブロックの活用
日吉川	瑞浪市日吉町	1/10	180	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.00	2.00	河道掘削工 護岸工 橋梁工	100%	1.00	100%	2.00	100%	-	-	狭小部の川幅を広げる。 自然環境を保全するためにスライドダウンを実施する。 取水堰を撤去することにより、河川の連続性を確保する。 工事着手時に工事区間内で生物保護活動を行う。	・自然環境に配慮した護岸ブロックの採用
小里川	恵那市山岡町	1/2	135	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.37	-	河道掘削工 護岸工	76%	0.17	45%	-	-	護岸工 用地補償	0.04	岩盤河床であるが、河床掘削時に現在のみお筋を保全することで、周辺風景との調和を図る。	・水深を確保しながらの岩盤掘削 ・発生材(間知)
笠原川	多治見市 大畑町、笠原町	1/30	120	河道掘削工 護岸工	0.55	1.10	河道掘削工 護岸工	0%	0.15	27%	0.56	51%	用地補償	0.00	川の様子や土地利用が異なることからゾーニング分けした整備計画とする。	大畑工区 河道掘削、護岸工(R2年・完成)

※1治水安全度向上のための改修延長  
※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2) 河川構造物の耐震化

種類	今期10年間の整備内容		R3年度まで			R4年度	備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	0						
樋門・樋管	1	前の川逆水樋門	1	前の川逆水樋門	100%	-	(H26に設計及び工事の一部を実施した。H27に残りを実施して完了した。)

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3) 魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		R3年度まで		R4年度		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	6	6	100%	-	-	多治見004魚道(土岐川)…河川改修に伴い改修済み

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。



進捗管理表(ハード対策)

流域名：宮川・庄川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今期10年間の整備内容					R3年度まで						R4年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量(m3/s)	工事内容	①改修延長(km)※1	②要対策堤防等延長(km)※2	実施内容	用地取得率	③改修済延長(km)	進捗率(③/①)	④対策済延長(km)	進捗率(④/②)	実施計画	⑤改修延長(km)※1	河川ごとの川づくり目標	R3年度までの実施内容
宮川(高山工区)	高山市	1/20	670~790	河道掘削工 護岸工 樋管工	1.5	2.0	測量設計 河道掘削工	—	1.5	100%	2.0	100%	-	0	現在の自然豊かな環境をそのまま維持、もしくは早期回復	・スライドダウン掘削 ・覆土工 ・寄せ石の設置
苔川	高山市	1/30	155	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.0	2.2	測量設計 用地買収 護岸工 橋梁工	80%	0.42	42%	0.94	43%	掘削護岸工 橋梁工 用地補償 測量設計	0.05	単調な流れからの脱却、景観の配慮、親しみやすい川づくり	・スライドダウン掘削 ・寄せ石の設置
江名子川	高山市	1/10	35	河道掘削工 護岸工	0.410	0.080	測量設計 河道掘削工 用地買収	50%	0.300	73.2%	0.050	62.5%	測量設計	0	【下・中流部】明度を落とした護岸素材の使用 【上流部】滲筋を外した隠し護岸等良好な自然環境の保全、親しみやすい川づくり	・スライドダウン掘削
宮川(古川工区)	飛騨市	1/30	2,800	河道掘削工 護岸工 築堤工	4.1	2.6	測量設計 河道掘削工 用地買収 築堤工	29%	0.81	19.7%	0.44	17.1%	護岸工	0.03	現在の豊かな自然環境を残しつつ河道掘削で流下能力を向上	・スライドダウン掘削
太江川	飛騨市	1/20	110	計画策定	—	—	測量設計	—	—	—	—	—	測量設計	0	明度を落とした護岸素材の使用、親しみやすい川づくり	—

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2) 河川構造物の耐震化

種類	今期10年間の整備内容		R3年度まで			R4年度	備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
-	-		-		-		

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3) 魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		R3年度まで		R4年度		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	54	54	100%	-	-	

※「要対応施設数」は、平成24年度の点検において「C」と判定された県管理魚道の数計上。

